

感じて・学んで・考えて、そこから「住んでよかった秋田」へつなげていく

秋田市 エイジフレンドリーシティカレッジ

第3回 リレーセミナー

超高齢社会を迎え、秋田市では、行政と市民協働によるエイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）を推進するため、今年度は各分野の専門家によるセミナーをシリーズで開催しています。

最終回は、ひきこもり支援を町おこしにつなげた藤里町の取り組みから、エイジフレンドリーシティ実現のために地域でできることについて、皆さんと一緒に考えていきます。

平成26年 **11月16日(日)**

午後**1時15分**～4時 (開場は12時45分から)



会場 **秋田拠点センター アルヴェ** (秋田駅東口から徒歩1分) 定員：200名
2階 多目的ホール

第1部 基調講演 (午後1時15分～2時35分)

テーマ「**ひきこもり支援を通して見えてきた地域づくりの可能性**」



講師 **菊地 孝子 氏**
社会福祉法人 藤里町社会福祉協議会 事務局長

第2部 パネルディスカッション (午後2時50分～4時)

テーマ「**地域に新たなつながりを生み出すために**」

パネリスト **菊地 孝子 氏** (藤里町社会福祉協議会事務局長)
中村 順子 氏 (秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻教授)
武内 伸文 氏 (S i N G代表)

コーディネーター **宇都宮 貴子 氏** (フリーアナウンサー)

申し込み方法

電話・FAX・メールにてお申し込みください
(1) 氏名 (2) 電話番号 (3) 人数
*手話通訳をご希望の方は、申し込み時にお知らせください

秋田市福祉保健部
長寿福祉課

電話：018-866-2095
FAX：018-866-8962
メール：ro-wflg@city.akita.akita.jp

代表者氏名

電話番号

人数

手話通訳希望

人

有・無

第1部 基調講演

【(福)藤里町社会福祉協議会の活動】

白神山地山麓に位置する秋田県藤里町の(福)藤里町社会福祉協議会は、ボランティア支援、見守り、買い物支援など多くの事業に加え、平成22年からひきこもり支援を始めた。同年4月には、ひきこもり・障がい者・不就労者の人々が、社会復帰のために活動する福祉の拠点「こみっと」を開設。彼らは「こみっと」登録生として、お食事処「こみっと」での就労、町の特産品であるまいたけを生かした「白神まいたけキッシュ」の製造・販売、除排雪など住民の要望に応えた地域での活動を行っている。また、求職者支援訓練もあり、様々な就労支援事業が行われている。

ひきこもりを地域の力に変え、町おこしにつなげた取り組みは、NHKクローズアップ現代や新聞、雑誌などでも取り上げられ、全国から注目を集めている。

第2部 パネルディスカッション

【中村 順子 氏】プロフィール

秋田県生まれ。聖路加看護大学卒業、聖路加看護大学大学院博士前期課程修了(看護学修士)、青森県立保健大学大学院博士後期課程修了(健康科学博士)。2011年日本赤十字秋田看護大学准教授、2013年から秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻教授。専門は地域・在宅看護学で、主な論文・著書に、「訪問看護ステーション管理者による新人訪問看護師への関わりー安心して訪問を任せられるようになるまでー(日本看護管理学会誌2009年)」「ケアの心看護の力(秋田魁新報社 2010年)」など多数ある。

秋田大学に新たに設置された地域包括ケア・介護予防研修センターのセンター長を務める。また、NPO法人ホームホスピス秋田で活動するなど、誰もが幸せに自分らしく暮らせるまちづくりのため、様々な活動を行っている。

【武内 伸文 氏】プロフィール

秋田市生まれ。青山学院大学卒業後、外資系コンサルティング会社に8年勤務し、その後、英国の大学院にて環境都市計画を学び、「持続可能な社会づくり」を研究。2005年に帰郷。留学時代に参加したNGO活動などの経験をもとに社会変革のコンサルティング団体「S i N G」を設立。現在、S i N G代表、武内印刷株式会社営業部長。

「次世代につながる環境にやさしい豊かな社会」を目指し、「わらしべ貯金箱」「ベロタクシー運行」「アキタバール街」などの様々な社会活動を行っている。また、各種イベント、ワークショップ、講演活動なども精力的に行っている。

【宇都宮 貴子 氏】プロフィール

フリーアナウンサー。秋田市内の料亭に生まれる。東京経済大学短期大学卒業後、秋田テレビに入社し、アナウンサーとなる。その後、エフエム秋田のアナウンサー、のちにフリーとなり、秋田のテレビとラジオで各局に出演。様々なイベントの司会業も務める。